

令和5年度（小学校）出張出前授業の成果と今後の方向性

1 令和5年度出前授業等の実績一覧

申込み学校名	題 材	実施日	参加人数	学級数
①幕張小学校3年	いも神様 青木昆陽	5/19	59名	2学級
②越智小学校4年	令和元年度の千葉市の大きな台風被害	9/8	22名	1学級
③越智小学校6年	千葉常胤と源頼朝	9/15	16名	1学級
④椎名小学校6年	鎌倉時代の武士の戦い方 (博物館の甲冑での体験活動)	9/26	43名	2学級
⑤越智小学校4年	900年間続いてきた千葉神社の妙見大祭	10/13	22名	1学級
⑥幕張インターナショナル スクール6年	鎌倉時代の武士の戦い方 (博物館の甲冑での体験活動)	10/31	43名	2学級
⑦鶴沢小学校6年	千葉常胤と源頼朝	11/8	70名	2学級
⑧寒川小学校年3年	昔の道具によって変わってきた生活 (博物館の昔の道具での体験活動)	11/10	100名	3学級
⑨稲毛小学校4年	伊能忠敬が千葉市を測量する	11/29	66名	2学級
⑩稲毛第二小学校5年	中央区・美浜区の埋め立ての歴史	12/13・15	112名	4学級
⑪幸町第三小学校3年	道具によって変わった私たちの生活 (博物館の昔の道具での体験活動)	1/19	71名	3学級
⑫磯辺第三小学校3年	道具によって変わった私たちの生活 (博物館の昔の道具での体験活動)	1/25	104名	3学級
⑬越智小学校3年	道具によって変わった私たちの生活 (博物館の昔の道具での体験活動)	1/31	17名	1学級
⑭磯辺小学校3年	埋め立てで変わった磯辺地区の暮らし	2/9	99名	3学級
⑮誉田東小学校4年	900年間続いてきた千葉神社の妙見大祭	2/21・22	136名	4学級
⑯源小学校3年	道具によって変わった私たちの生活 (博物館の昔の道具での体験活動)	2/28	25名	1学級
⑰椎名小学校6年	千葉空襲と学童疎開	3/5	43名	2学級
集計 学校数 13校 学年数 17学年	授業実施題材数 10題材 (HP公開題材数・・14題材)	授業実施 日数 19日	累計児童 数 1048名	実施学級 37学級

2 本年度の出前授業の成果（資料相談や授業相談からの授業申し込み）

(1) 博物館の収蔵品や資料を使った体験的な学習を取り入れた授業を行う

○本年度は、学校では準備できにくい**博物館の収蔵品**（鎌倉時代の甲冑、江戸・明治時代の昔の道具）を**活用した体験的学習**の授業を多く行った。これは博物館の資料を学校へ持ち込んで体験的な授業を行ってほしいという各学校の要望を生かした授業作りであり、博物館の特徴を生かす授業作りを行うことができた。

(2) 学校からの社会科学習や総合的な学習の時間への資料相談と、それに応えた授業作り

○本年度は、学校の授業研究や総合的な学習の時間に使うために「**博物館にはどのような資料があるの？**」「**このようなテーマで授業できますか？**」等の**資料相談や授業相談**が何件かあった。それに応えるために、博物館の資料を持参して学校へ出かけて授業相談を行った。その延長で出前授業もしてほしいという依頼で行った授業が数件あった。このような依頼は、本年度初めてのケースであり、博物館の出前授業に対して学校の様々なニーズが広がり、それに応える形での授業支援を行うことができた。

(3) 学校の様々な教育活動への支援としての出前授業の実施

○本年度は、佐原の校外学習への事前学習（伊能忠敬）、学校の行事や市のイベントの事前学習（千葉常胤）、学校周辺地域の「歴史の掘り起こし学習」への授業（千葉空襲と学童疎開）等、本館から担当の学校への授業提案や通常授業以外の行事やイベントへの支援の要請に応える形で、学校と打ち合わせを重ねて相談しながら、授業作りを考え、様々な形態の出前授業を行うことができた。

3 出前授業の実施後の各観点別の分析

(1) 出前授業の累積参加児童総数（本年度出前授業 参加児童数 1048名）

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計学年数
令和4年度	771名	224名	0	50名	1045名
令和5年度	475名	246名	112名	215名	1048名

- ①出前授業に参加した児童の累積数は昨年度とほぼ同じ人数の1048人であった。**2年連続して1000人以上の児童に授業を行うことができた**のは、現場の先生方の熱意と協力に支えられた賜物であり、本年度の大きな成果であった。
- ②本年度は3年の参加児童数は減ったが、4年～6年の参加児童数が増えた。特に6年の児童数が大きく増加した。6年生は「鎌倉時代の甲冑を活用した体験活動」の申し込みが多く、博物館の収蔵物や諸資料を活用した「**博物館の出前授業らしい授業**」を多く行うことができた。
- ③昨年度当初に5年生の授業プログラムを1つ追加したが、その結果5年生からの申し込みがあり、本年度は**初めて5年生の出前授業を行うことができた**。

(2) 出前授業実施した累積学級数の傾向（授業実施学級数 37学級）

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計学年数
令和4年度	29学級	9学級	無し	3学級	43学級
令和5年度	15学級	8学級	4学級	9学級	36学級

○授業実施学級数は、3年生が全体の約3分の1で一番多い学年である。しかし、昨年度と比べて5年・6年の**高学年の実施学級数が徐々に増えてきた**ことが、本年度の大きな特徴である。

(3) 申し込み学年数の傾向（授業実施学年数 17学年）

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計学年数
令和4年度	11学年	5学年	0	3学年	20学年
令和5年度	7学年	4学年	1学年	5学年	17学年

○本年度も全ての学年の申し込みがあった。**3年と6年の申し込みが特に多かった**。3年は館内で所蔵している「昔の道具」、6年では館内所蔵の甲冑を使った「鎌倉時代の武士の戦い方」等の**博物館の収蔵品を活用した体験活動**の学習をしてほしいという申し込みが多く、資料を豊富に所蔵している博物館の長所を生かした学習ができた。また、「**開府900年**」を見据えた「千葉常胤（千葉氏）」の学習の申し込みも増えてきた。

(4) 過去4年間の出前授業の申し込み学校数の変遷（1校で複数の申込みあり）

令和2年度	2学校
令和3年度	3学校
令和4年度	11学校
令和5年度	13学校
合計学校数	29学校

○出前授業の申込み学校数、開始から4年間で順調に増えてきた。
○令和4年度から申し込み学校数が、急激に増加傾向にある
○令和2年～5年の4年間で郷土博物館の**出前授業を行った小学校の総数は29校**ある。これは**千葉市小学校総数107校中の約27%（約4分の1）の学校**で授業をさせていただいた。今後も継続して続けていきたい。

(5) **本年度申し込み学校数とその地域分布の傾向** (授業実施学校数 13校)

	花見川区	稲毛区	美浜区	中央区	若葉区	緑区	実施学校数
令和4年度	3校	2校	1校	1校	2校	2校	11校
令和5年度	1校	1校	5校	2校	1校	3校	13校

○本年度も千葉市6つの行政区の全ての学校から申し込みを受けた。特に、今年は美浜区と緑区の申し込みが多かった。

○本年度は、千葉市公立学校では無い「幕張インターナショナルスクール6年生」から当館の甲冑を活用した体験学習の申し込みがあった。申し込みをする学校の広がりを感じた。

○本年度は**13校中10校が昨年度とは異なる新規学校からの申し込み**であり、「郷土博物館の出前授業」が4年目を迎え、市内の各地域の小学校の中で徐々に認知され、広がってきたと考えられる。

(6) **出前授業や打合せのための学校訪問日数** (年間授業訪問日数 18日)

○<授業の訪問日数> **令和3年度 11日 / 令和4年度 20日 / 令和5年度 19日**

○本年度は、出前授業のための学校訪問日数は、19日間と令和4年度ほぼ同じ数であった。

さらに、授業を実施するためには必ず事前に学校を訪問して、担任の先生方に指導案や資料や渡して授業内容を話し合う時間を必ず設定するというを行っている。そのため本年度も、資料相談のために訪れた日数も含めて1年間で約40日間位、各学校を訪問させていただいた。

(7) **出前授業の申込み題材とその実施傾向**

題材名	R4実施学級数	R5実施学級数	R5参加児童数	R5参加児童比率
○美浜区の埋め立て(歴史3年)	1	1	99名	9%
○昔の道具(歴史3年)	19	11	317名	30%
○台風被害(歴史4年)	4	1	22名	2%
○千葉神社の妙見大祭(歴史4年)	0	5	158名	15%
○染谷源右衛門(人物4年)	9	0	0名	0%
○青木昆陽(人物4年)	8	1	59名	6%
○伊能忠敬(人物4年)	0	1	66名	7%
○工業学習と関連した中央区・美浜区の埋め立て(5年)	0	1	112名	11%
○千葉常胤(歴史6年)	1	3	86名	8%
○鎌倉武士の戦い方(歴史6年)	1	1	86名	8%
○千葉空襲と学童疎開	0	1	43名	4%

4 本年度の課題と、次年度に向けての改善方針について

(1) 出前授業プログラムに体験的活動を、より多く取り入れていきたい。

今までに実施した体験的活動を取り入れた出前授業は主に、3年「昔の道具」、4年「染谷源右衛門と花見川の開拓」、6年「甲冑や弓矢を活用した鎌倉武士の戦い方」の3つである。全て博物館の資料を学校に持ち込み、**児童自身が「見る・さわる・動かす」の活動を行う授業**である。いずれも好評であった。

授業後の教師用アンケートの中には、博物館の出前授業では館内の収蔵品を活用した体験的活動を望む声が多い。本年度はその学校の要望に応えるために、**既存の授業にもさらに工夫をこらして体験的活動をなるべく多く取り入れた授業を計画提案していきたい。**

(2) 千葉市各地域にねむる史実をほり起こしながら「地域の昔を学ぶ学習」として、各学校の地域学習として提案していきたい。

本年度は「緑区椎名地区の戦前の学童疎開」を取り上げた出前授業を実施した。これは本館の特別展の資料収集の結果明らかになった史実をもとに作った授業プランであり、「**地域の昔を学ぶ学習**」でもあった。そしてこの授業プランをさらに当該学校に提案して、了承を得て行った出前授業でもあった。

この授業の特徴は、単元学習ではなく「**地域学習**」であることと、申し込みを受けた授業ではなく「博物館から**提案した授業**」であることであった。次年度以降も博物館の収蔵品や研究成果を生かしながら、千葉市の各地域の「地域の昔を学ぶ学習」の授業プランを作成して、各学校に提案していきたい。

(3) 学校の様々要望に応じた「**オリジナルな授業作り**」や「**授業相談や資料相談**」を充実させていきたい。

当館のHPには、3年～6年生の各学校向けの学習プログラムが14つ掲載されている。しかし、本年度はこの学習プログラムを「うちの学校に合わせて作り変えてくれないか」「既存の学習プログラムにはないのだけれど、こんな授業はできませんか?」「こういう学習をしたいのですが、博物館にはどんな資料がありますか」というお願いや問い合わせが多くあった。学校の要望のきっかけは、授業研究、学校行事、学校実施イベントであった。そこで、担当者が学校に出かけて行って様々な話し合いや相談を重ねていった。

各学校には通常の授業だけでなく様々な要望があるので、次年度以降も各学校の要望にあった「**オリジナルな授業づくり**」や「**授業相談や資料相談**」活動を充実させていきたい。

5 出前授業後の教師や児童のアンケート調査より (体験活動を主に行った授業を1部抽出)

(1) 昔の道具(3年生)の授業後の**児童の満足度** (抽出学校2校 合計児童数121名)

- ①とても楽しかった・役に立った(100名 82%) ②楽しかった・役に立った(19名 15%)
③少し楽しかった・役に立った(4名 3%) ④あまり楽しくなかった役に・立たなかった(0名 0%)

*3年生の児童には、実際の道具に触れる活動は非常に効果的だった。

(2) 昔の道具の**授業後の児童の感想**

- 行灯の光を、暗闇で見ることができてとても楽しかったし、行灯の光はとてもきれいでした
- 行灯の光は電気を使っていないので、今災害に見舞われている石川県でも役に立つと思った
- なによりも、たくさんの昔の道具を自由に触れてとてもうれしかったし、発見も多くあった

(3) 昔の道具の**授業後の教師の感想**

- 昔の道具が不便という思い込みを脱却して、当時の人々の知恵や工夫を実感することができました。
- 実際の道具に触れることは子供にとって、とてもプラスですし、注意深く観察したり、予想したりすることができてとても良い授業でした。

(4) 鎌倉時代の武士の戦い方(6年生)の**授業後の児童の満足度** (抽出学校2校 合計児童数121名)

- ①とても楽しかった・役に立った(58名 67%) ②楽しかった・役に立った(23名 27%)
③少し楽しかった・役に立った(5名 6%) ④あまり楽しくなかった役に・立たなかった(0名 0%)

*甲冑や弓矢を活用した活動は、歴史へのイメージを大いに膨らませることができるようになりました。

(5) 鎌倉時代の武士の戦い方(6年生)の**授業後の児童の感想**

- 兜は首が持っていかれそうなくらい重くてびっくりしました。さらに重たい鎧を付けて馬にまたがり戦うのは、とんでもない訓練が必要なのだろうと実感しました。
- ぼくはこの体験を通して、鎌倉武士になる難しさを感じました。あんな重いものを身に付けて馬を操るのは至難の業です。その中でも一番驚いたのは弓の大きさです。馬に乗りながら矢を射るのは難しいだろうな。

(6) 鎌倉時代の武士の戦い方(6年生)の**授業後の教師の感想やお礼のカード集が送られてきました**

- 体験活動を生かした授業が行われて、子どもたちの学ぶ意欲が大いに高まりました。
- 『**鎌倉武士について学んで**』という**カード集**を送ります。あらためて体験することの学びの深さを感じることができた授業でした。

